

電気の排出係数（基準年度・実排出係数・調整後排出係数）の比較について

- 電気の使用に伴い発生する二酸化炭素は、電気の使用量に排出係数を乗することで算定されます。
- 電気事業者との排出係数は国から毎年公表されていますが、平成20年度以降は「実排出係数」のほかに、京都メカニズムクレジットなどを反映した「調整後排出係数」があります。
- 中部電力の排出係数の推移は、図1のとおりであり、調整後排出係数は年によって大きな変動があることがわかります。

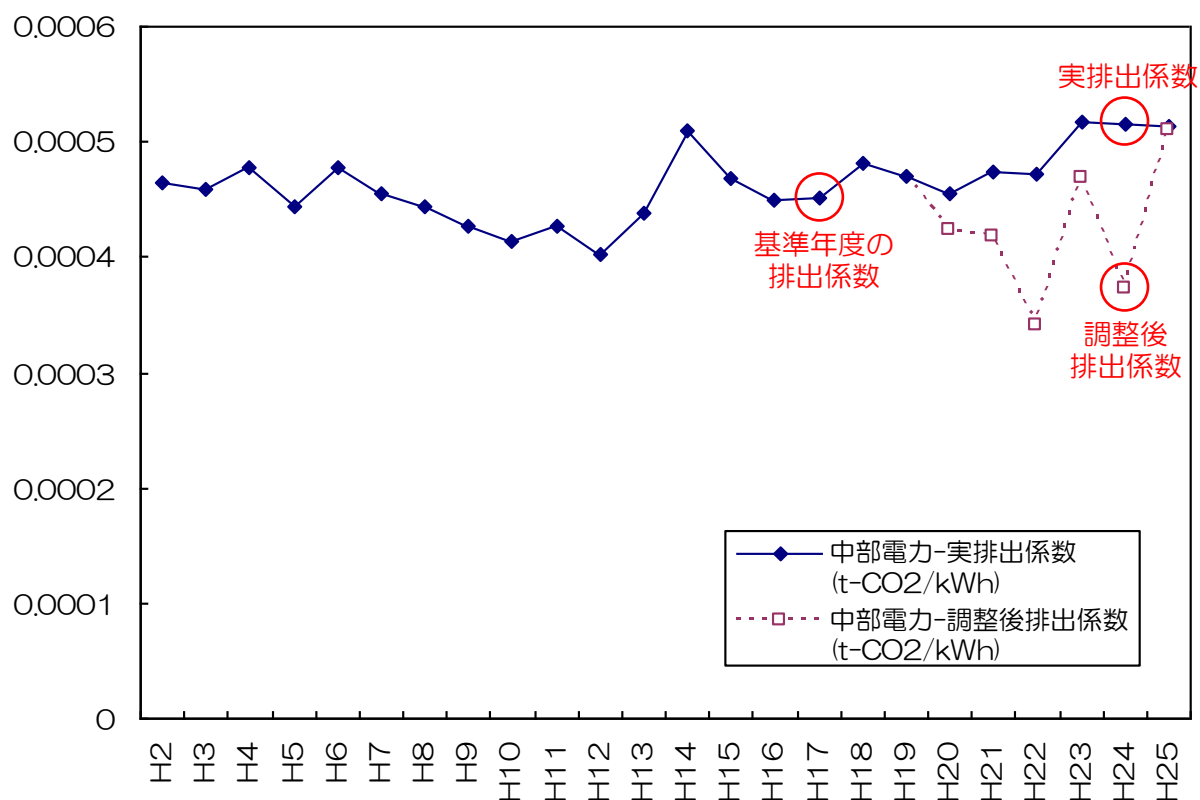
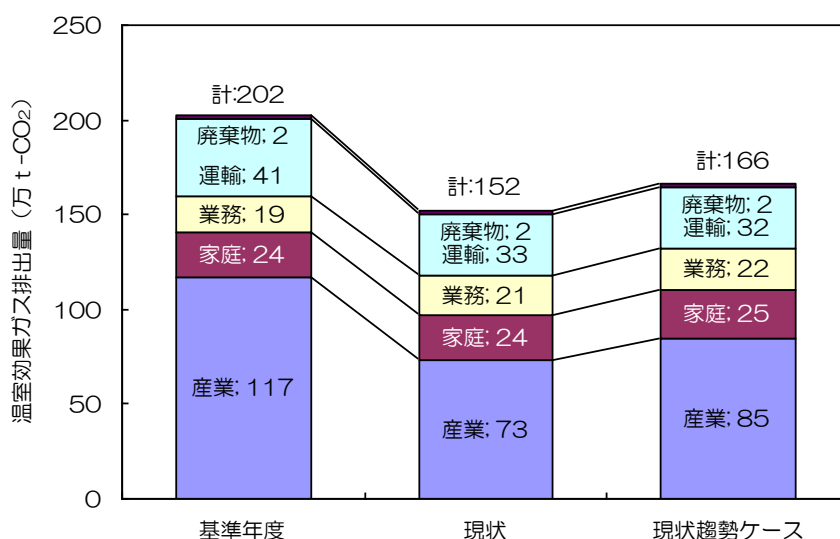


図1 中部電力の排出係数の推移

- ①基準年度（H17）時点の排出係数、②実排出係数及び③調整後排出係数を用いた二酸化炭素排出量の比較を次ページに示します。
 なお、現時点での計画書素案には、①基準年度（H17）時点の排出係数を用いた二酸化炭素排出量を記載しています。

① 基準年度（H17）時点の排出係数を用いた二酸化炭素排出量の算出結果

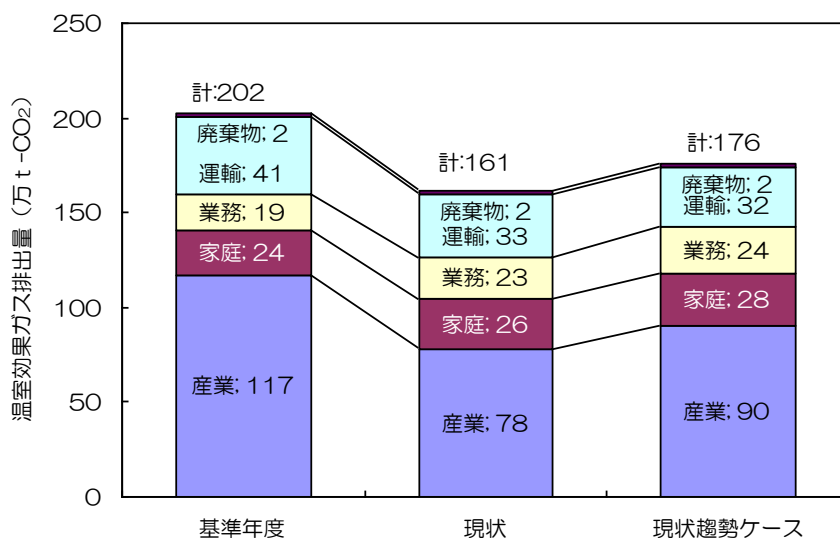
	基準年度（2005 年度）	現状（2012 年度）	現状趨勢ケース（2020 年度）
産業部門	1,167,064	732,074	846,919
民生家庭部門	241,768	239,203	251,724
民生業務部門	192,722	205,864	221,175
運輸部門	405,984	325,636	320,590
廃棄物部門	16,354	17,833	18,766
計	2,023,892	1,520,610	1,659,174



※グラフ中の数字は、四捨五入のため合計値が合わないことがあります。

② 実排出係数を用いた二酸化炭素排出量の算出結果

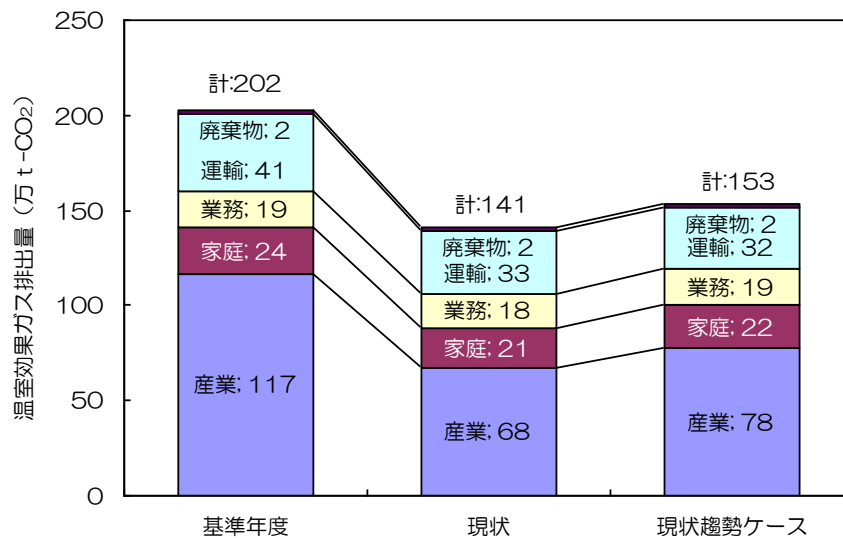
	基準年度（2005 年度）	現状（2012 年度）	現状趨勢ケース（2020 年度）
産業部門	1,167,064	777,825	900,288
民生家庭部門	241,768	263,984	277,803
民生業務部門	192,722	226,432	243,273
運輸部門	405,984	325,636	320,590
廃棄物部門	16,354	17,833	18,766
計	2,023,892	1,611,710	1,760,720



※グラフ中の数字は、四捨五入のため合計値が合わないことがあります。

③ 調整後排出係数を用いた二酸化炭素排出量の算出結果

	基準年度（2005 年度）	現状（2012 年度）	現状趨勢ケース（2020 年度）
産業部門	1,167,064	675,599	781,040
民生家庭部門	241,768	208,613	219,533
民生業務部門	192,722	180,475	193,898
運輸部門	405,984	325,636	320,590
廃棄物部門	16,354	17,833	18,766
計	2,023,892	1,408,156	1,533,827



※グラフ中の数字は、四捨五入のため合計値が合わないことがあります。